

2008年2月15日 パリ

**ユーラーヘルメスにとって好調な 2007 年
力強い成長の年に**

2008年2月15日、監査委員会の審査を経て、Directoire はユーラーヘルメス取締役会に2007年の連結決算を発表しました。

主要数値

ユーロ(百万単位)	2007年	2006年	増減額	増減率 (%)
売上高(保険料収入)	2,099.4	2,011.8	87.6	4.4%
通常の営業収益	392.5	340.1	52.4	15.4%
営業外収益(利息を除く)	185.2	149.8	35.4	23.6%
経常利益	577.7	489.9	87.8	17.9%
純利益	407.0	326.1	80.9	24.8%
グローバル最終コンバインド・レシオ	67.9%	67.3%		

「2007年はユーラーヘルメスにとって全ての金融数値において、素晴らしい一年だっただけでなく、世界中における業務の発展という点においても際立った一年でした。」とクレメンス・フォン・ヴァイクス(Clemens von Weichs)会長は述べました。「私たちは西ヨーロッパ外において取引信用保険の需要の増加を目の当たりにしています。イスラエル、ロシア、トルコ、アラブ首長国連邦あるいはアルゼンチンといった国々においてそれぞれイニシアティブを発揮できた結果をうれしく思います。」

1. 営業の概況

2007年のユーラーヘルメスの売上高は2006年に比べて4.4%上昇しました。この増加は売上高を通貨換算格差と連結範囲の変化に対応して調整した場合、(5.6%の増加)とより顕著です。

連結、為替レートそして年間の成長率でユーラーヘルメスが2007年上半期の4.6%の成長から、売上高の成長率は10.5%と2006年第4四半期よりも2007年の第4四半期においてより浮力のあるものとなりました。

ユーロ圏において、ユーラーヘルメスの売上高の成長はフランスの7.2%の増加、イタリアの9.8%増加、そして北欧諸国の9.5%増加したことによって支えられました。

ドイツは他のヨーロッパ諸国より遅れ、2007年は低成長でした。これはより激しい競争環境が保険料率への圧力となったためです。一方で保険契約者は自家保険への回帰を選んだり、過去3年間に直面した保険金請求の軟化環境のための保険料返戻の増加を要求しました。オランダでも激しい競争環境にさらされ、現地の競争会社に契約を奪われ、マイナス成長となりました。

数年間の緩やかな成長の後、イギリスでは2007年は8.6%という力強い成長を記録しました。この転換は新しいビジネスの急上昇と、契約者の力強い売上高の成長によるとても成功した営業努力によってもたらされたものです。

アメリカでは、売上高を通貨換算格差と連結範囲の変化に対応して調整した場合、2006年に比べ売上高が11.4%という急成長を記録しています。

東ヨーロッパ、南ヨーロッパ、ラテンアメリカそしてアジアといった新規進出市場では売上高を通貨換算格差と連結範囲の変化に対応して調整した場合、9.4%増と急浮上しました。

地域別の総収益（実収保険料に基づく）

ユーロ(百万単位)	2007年 12月31日	2006年 12月31日(1)	2006年 12月31日(2)	2006年からの 増減率	増減率
ドイツ	700.035	695.784	697.644	0.6%	0.3%
フランス	410.750	383.117	383.117	7.2%	7.2%
イタリア	247.757	225.727	225.727	9.8%	9.8%
イギリス	215.937	200.358	198.790	7.8%	8.6%
アメリカ	147.748	138.826	132.683	6.4%	11.4%
ベルギー	76.426	74.525	74.525	2.6%	2.6%
オランダ	46.613	47.783	47.783	-2.4%	-2.4%
北欧諸国	44.758	40.931	40.881	9.3%	9.5%
ポーランド	43.028	53.769	38.776	-20.0%	11.0%
スイス(国内再保険)	15.660	9.329	10.024	67.9%	56.2%
主要国の合計	1,948.712	1,870.148	1,849.949	4.2%	5.3%
うちユーロ圏合計	1,526.339	1,467.867	1,469.676	4.0%	3.9%
新規進出市場の合計	150.735	141.671	137.762	6.4%	9.4%
グループ合計	2,099.447	2,011.820	1,987.711	4.4%	5.6%

注釈：(1)2006年発表の売上高（地政学上の再定義後）

(2)2006年の売上高を通貨換算格差と連結範囲の変化に対応して調整、ポーランドのIFRS売上高についてはIFRS調整を含んだものです。

2.営業利益

2006年の営業利益の17.9%増加は4.4%の売上高の成長よりもはるかに力強いものでした。この急激な増加は主に近年、再保険会社への出再率が徐々に減少しているためです。2007年はその割合がさらに6.6%減少しました。その結果、保険料収入は14.2%上昇し、通常の営業収益も15.4%上昇しました。

保険料収入と通常の収益が同じレベルで伸びたことが**2007年のコンバインド・レシオ(損害率と事業費率の和)**が67.9%という結果に直結し、2006年の67.3%というコンバインド・レシオからほんのわずかながらの変化にとどまっております。

コンバインド・レシオを構成する損害率と事業費率は次のような変化が見られました。

- ・ 損害率は清算回収が急激に減少したにもかかわらず、2006年の-49.2%から2007年は-48.1%と約1%改善しました。
- ・ 事業費率は、高い保険料保有率の直接の結果として、低い再保険手数料となり、ほんのわずかながら18.1%から19.1%へ悪化しました。この影響を調整するために、会社の総費用を制限して売上高の伸びより上昇を抑えました。

損害率は 2007 年 9 月末の 44%から 2007 年 12 月末には 48.1%と 2007 年の第 4 四半期中では上昇しました。この変化は北米で保険金の支払いが増加した一方で、第 3 四半期決算で既にお知らせしたことでありますが、未払い保険金(run-offs)が減少したことによって説明できます。2007 年中期以降、ユーラーヘルメスは北米における、保険を引き受けている、あらゆる信用リスクに対して正確なコントロールを行うための詳細なアクションプランを立ててきました。

2007 年の**営業外収益**の内訳は 12.8 百万ユーロの投資による収入の増加と自己資本ポートフォリオに大きく関係する 22.6 百万ユーロのキャピタルゲインの増加です。

2007 年 12 月 31 日時点において、投資ポートフォリオの市場価格は 3,498 百万ユーロに達し、2006 年 12 月 31 日の 3,349 百万ユーロから 149 百万ユーロ上昇しました。この増加は主に営業キャッシュフローの再投資によってもたらされたものでした。実現資本をあげたにもかかわらず、未実現資本収益は 211 百万ユーロとなり投資ポートフォリオの 6%を占めています。

強力な引受結果と投資結果によって、営業利益は 577.7 百万ユーロとなり 2006 年より 17.9%増加しました。

3. 純利益

財務費用および税金の計算後、ユーラーヘルメスの**純利益**は **407.0 百万ユーロ**となり、2006 年に比べて 24.8%の増加が見られました。この 24.8%の増加には 2008 年から適用される 2007 年のドイツ税制改正によって税債務と定義された 43 百万ユーロの返戻が含まれています。この改正によって法人税率は 40.38%から 2008 年は 32.38%に減少します。

4. 配当

1 株あたりの利益は 9.33 ユーロという前提で、ユーラーヘルメスは 2008 年の 5 月 16 日に行われる年次総会で 2006 年の配当より 25%増の 1 株あたり 5 ユーロの配当金を提案する見通しです。

5. 資本

ユーラーヘルメスグループの資本は 2,077.9 百万ユーロで 2006 年末の 1,911.5 百万ユーロと比較して 8.7%の伸びを記録し、20.6%の自己資本利益率となり、ユーラーヘルメスの中期目標を上回りました。

6. 今後の見通し

2008 年の初めから、北米経済は失速の影響を受けています。ユーラーヘルメスはあらゆる信用リスクの予防ツールを利用したとても厳格な方法で、リスクをコントロールしています。今日までのところ、ユーラーヘルメスの中核市場である、ヨーロッパでの経済発展はヨーロッパ企業の解決能力が強く影響しているのかもしれませんが、同様の経済失速には直面しておりません。それにもかかわらず、ユーラーヘルメスは、信用リスク環境の急速な悪化において的確な対処ができる様々な防止策に重点を置きました。ユーラーヘルメスはそのビジネスモデルに自信を持っており、2008 年にはますます困難な経済環境に直面しても、財務業績にマイナスの影響を受けない予防ツールを保有していると考えています。

ユーラーヘルメスグループは世界の信用保険市場において首位の地位を築くとともに、保証保険や保証分野においてもリーダー的地位を確保しております。世界 50 カ国に 6,000 人の社員を擁し、幅広い与信管理サービスを提供しています。2007 年のグループ売上高は 21 億ユーロです。

ユーラーヘルメスグループは AGF の子会社として、またアリアンツグループの一員として、ユーロネクスト・パリ証券取引所に上場。スタンダード & プアーズより AA-の格付けを取得しております。

本件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

ユーラーヘルメス信用保険会社・日本支店 広報担当 TEL :03-3538-5403 メールアドレス :info.jp@eulerhermes.com

Euler Hermes Press / Investor relations Euler Hermes Group:

Investor relations Nicolas Hein: +33 (0)1 40 70 54 65 - nicolas.hein@eulerhermes.com

Press relations Samuel Beauchef: +33 (0)1 40 70 56 19 - samuel.beauchef@eulerhermes.com

These assessments are, as always, subject to the disclaimer provided below.

Cautionary Note Regarding Forward-Looking Statements:

Certain of the statements contained herein may be statements of future expectations and other forward-looking statements that are based on management's current views and assumptions and involve known and unknown risks and uncertainties that could cause actual results, performance or events to differ materially from those expressed or implied in such statements. In addition to statements which are forward-looking by reason of context, the words 'may, will, should, expects, plans, intends, anticipates, believes, estimates, predicts, potential, or continue' and similar expressions identify forward-looking statements. Actual results, performance or events may differ materially from those in such statements due to, without limitation, (i) general economic conditions, including in particular economic conditions in the Allianz Group's core business and core markets, (ii) performance of financial markets, including emerging markets, (iii) the frequency and severity of insured loss events, (iv) mortality and morbidity levels and trends, (v) persistency levels, (vi) the extent of credit defaults (vii) interest rate levels, (viii) currency exchange rates including the Euro-U.S. Dollar exchange rate, (ix) changing levels of competition, (x) changes in laws and regulations, including monetary convergence and the European Monetary Union, (xi) changes in the policies of central banks and/or foreign governments, (xii) the impact of acquisitions, including related integration issues, (xiii) reorganization measures and (xiv) general competitive factors, in each case on a local, regional, national and/or global basis. Many of these factors may be more likely to occur, or more pronounced, as a result of terrorist activities and their consequences.

The matters discussed herein may also involve risks and uncertainties described from time to time in Allianz AG's filings with the U.S. Securities and Exchange Commission. The Group assumes no obligation to update any forward-looking information contained herein.